

第18回国際火山洞窟学シンポジウム報告

第18回国際火山洞窟学シンポジウムが米国ラバベッツ国立公園にて2018年7月22日～7月26日に開催された。会議場・宿泊場所はともにラバベッツ国立公園近くのWinema lodgeである(写真1)。参加国は米国、英国、フランス、アイスランド、イタリア、日本他で参加人数は約80名、午前は講演、午後は巡検という構成で、講演発表数は30件ほどで、巡検対象はラバベッツ国立公園内及び近傍の火山洞窟である。米国地質調査所(USGS)のJohn Tinsley氏によるラバベッツ国立公園を占めるマンモスクレータ溶岩流の総括的な紹介が行われた後(写真2)、巡検は洞窟ごとにグループに分かれそれぞれ現地の専門家によって引率されて行われた。写真3,4に洞窟の様子を示す。次回はイタリア・シシリー島で2020年8月開催である。



写真1 シンポジウム会場(奥の会議場とロッジ)



写真3 ヴァレンタイン洞窟

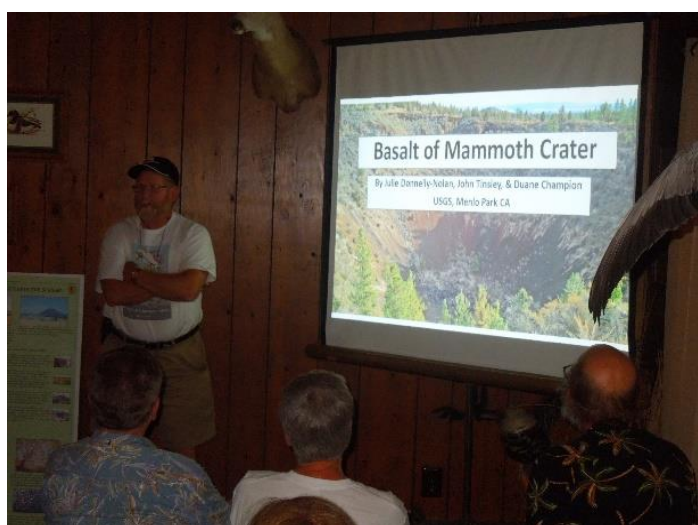


写真2 John Tinsley氏(米国地質調査所 USGS)によるラバベッツ国立公園の解説



写真4 洞窟天井の溶岩鍾乳